

平成25年3月27日

徳島県知事 飯泉 嘉門 殿

徳島県公共事業評価委員会
会長 村上 仁士

徳島県公共事業評価委員会の審議対象事業に対する意見について

このことについて、別添のとおり意見を取りまとめましたので、徳島県公共事業評価委員会設置要綱第2条の規定に基づき提出します。

徳島県公共事業評価委員会の
審議対象事業に対する意見

平成25年3月27日

目 次

○徳島県公共事業評価委員会の審議対象事業に対する意見

平成24年度対象事業（再評価）

・農林水産部関係 1

湛水防除事業	1事業
地盤沈下対策事業	1事業
国営附帯県営農地防災事業	3事業
一般農道整備事業	1事業
地すべり対策事業	3事業
林道開設事業	1事業

・県土整備部関係 2

道路改築事業	1事業
緊急地方道路整備事業	2事業
総合流域防災事業	1事業
地すべり対策事業	1事業

○徳島県公共事業評価委員会名簿 3

徳島県公共事業評価委員会の審議対象事業に対する意見

平成24年度再評価対象事業（農林水産部所管事業）

事業名・箇所名	委員会の意見
湛水防除事業 <small>かつらちく</small> ・ 勝占地区	継続することが適切である。
地盤沈下対策事業 <small>あいずみにきちく</small> ・ 藍住2期地区	継続することが適切である。
国営付帯県営農地防災事業 <small>おおつとうぶひがしちく</small> ・ 大津東部東地区	継続することが適切である。 なお、投資効果が早期発現するよう、制約事項に配慮して、ブロック割りやスケジュール等の最適化を図ること。 投資効果の発現状況をモニタリングし、その発現状況を事業へフィードバックする工夫をすること。
<small>おおやまちく</small> ・ 大山地区	継続することが適切である。
<small>とうのそちく</small> ・ 唐園地区	継続することが適切である。
一般農道整備事業 <small>いさわちゅうおうちく</small> ・ 伊沢中央地区	計画を見直し継続することが適切である。
地すべり対策事業 <small>ひがしいやにきちく</small> ・ 東祖谷2期地区	継続することが適切である。
<small>みさとなかちく</small> ・ 美郷中地区	継続することが適切である。
<small>いちうきたにきちく</small> ・ 一字北2期地区	継続することが適切である。
林道開設事業 <small>きりこえひらいせん</small> ・ 霧越平井線	中止することが適切である。

徳島県公共事業評価委員会の審議対象事業に対する意見

平成24年度再評価対象事業（県土整備部所管事業）

事業名・箇所名	委員会の意見
道路改築事業 ・一般国道438号 ^{かみぶん} （上分バイパス）	継続することが適切である。
緊急地方道路整備事業 ・鳴門池田線 ^{きょうしんしんまち} （共進新町工区）	継続することが適切である。
緊急地方道路整備事業 ・阿南相生線 ^{あらたの} （新野工区）	継続することが適切である。
総合流域防災事業 ^{がくしまがわ} ・学島川	継続することが適切である。
地すべり対策事業 ^{つるい} ・釣井	継続することが適切である。

○ 徳島県公共事業評価委員会名簿

氏 名	職 名
久次米 貞 美	税 理 士
上 月 康 則	徳 島 大 学 大 学 院 教 授
佐 田 久 幸 子	建 築 家
佐 渡 君 江	四 国 大 学 生 活 科 学 部 教 授
福 島 明 子	四 国 大 学 経 営 情 報 学 部 講 師
○ 村 上 仁 士	徳 島 大 学 名 誉 教 授
山 中 英 生	徳 島 大 学 大 学 院 教 授

(○は会長，五十音順，敬称略)